

8. ごみの減量に効果的な取り組みについて

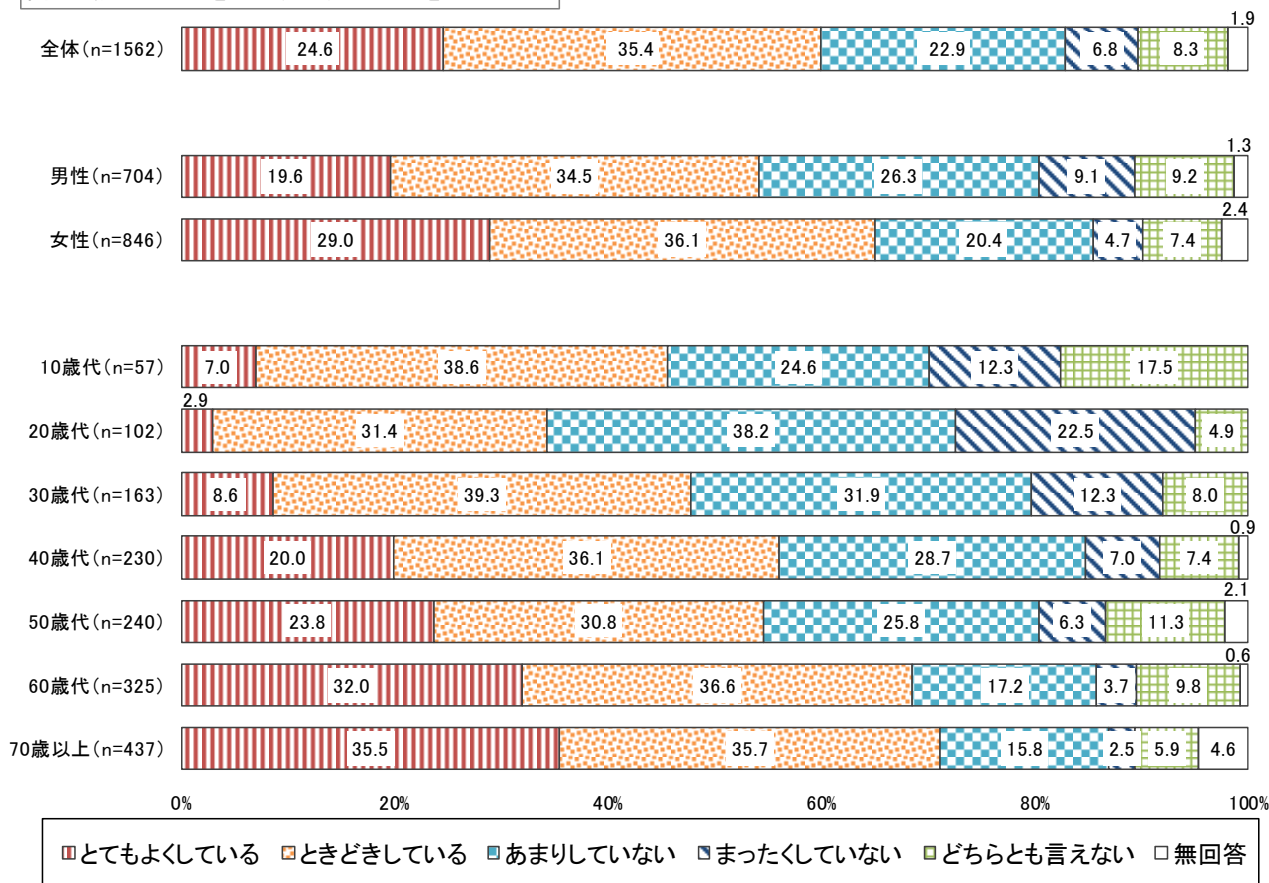
問 34 あなたは、普段の生活の中で、何か燃えるごみを減らす取組や工夫をしていますか。
(〇は1つだけ)

「ときどきしている」が35.4%と最も高く、ついで「とてもよくしている」が24.6%、「あまりしていない」が22.9%となっている。

性別にみると、している(「とてもよくしている」「ときどきしている」の合計)人は男性よりも女性の方が10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、20歳代ではしている人が34.3%であるのに対し、していない(「あまりしていない」「まったくしていない」の合計)人は60.7%となっている。ただし、20歳代以降、年代が上がるにつれて、している人が増加する傾向がみられ、70歳以上でしている人は71.2%となっている。

問34 燃えるごみを減らす取組や工夫をしているか



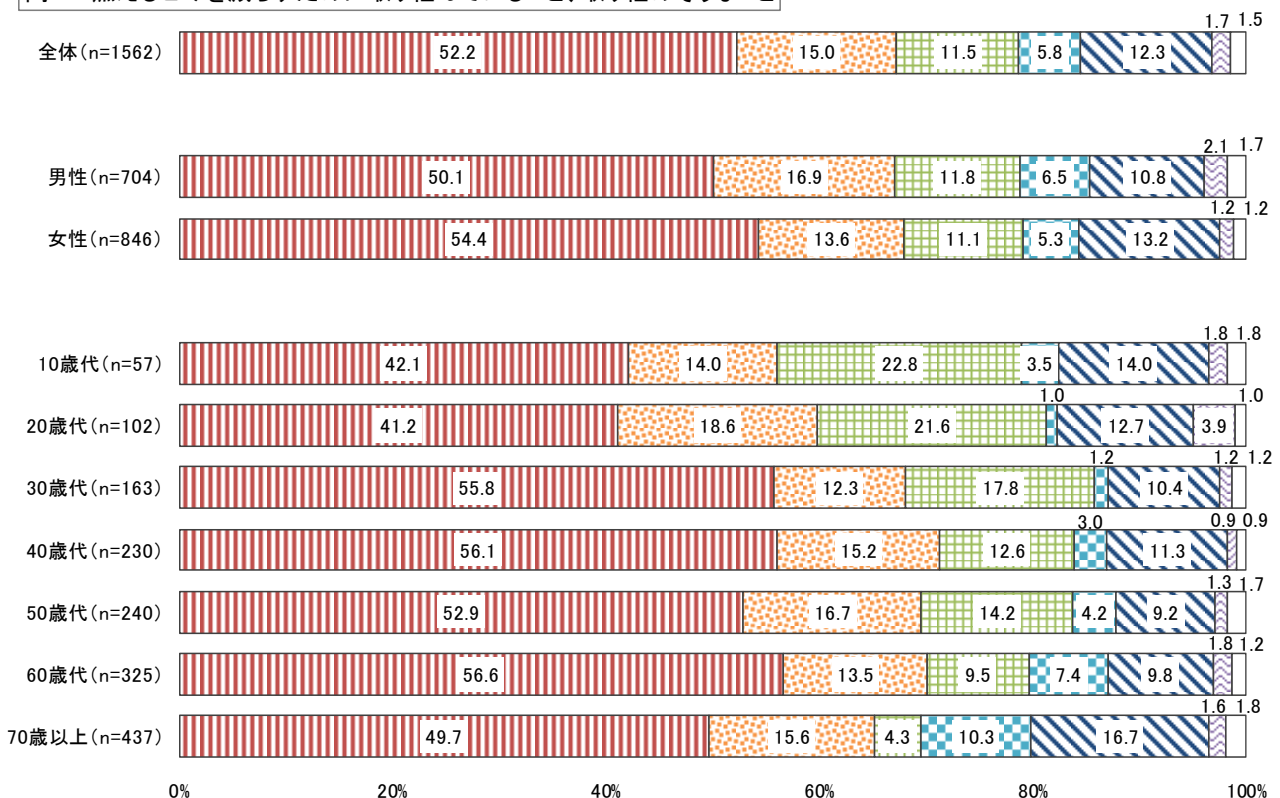
問 35 あなたは、普段、燃えるごみを減らすために、主にどのようなことに取り組んでいますか。また、特に取り組んでいない方は、どんな取組なら実行できそうですか。
(○は1つだけ)

「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が52.2%と最も高く、ついで「資源物（紙類）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が15.0%、「生ごみを出すとき、なるべく水分を切って出す」が12.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が最も高く、男性で50.1%、女性で54.4%となっており、女性の方がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が最も高くなっている。特に30歳代以上で高くなっている。また、10歳代、20歳代では「使い捨てのものではなく、くり返し使用できるものを購入する」が他の年代よりも高く、2割を超えている。

問35 燃えるごみを減らすために取り組んでいること、取り組めそうなこと



- 資源物(プラスチック容器・袋)は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する
- 資源物(紙類)は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する
- 使い捨てのものではなく、くり返し使用できるものを購入する
- 生ごみをたい肥化させ、ごみとして出さない
- 生ごみを出すとき、なるべく水分を切って出す
- その他
- 無回答

問 36 あなたは、普段、紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌・雑紙）を主にどこに出していますか。（〇は1つだけ）

「地域の指定された集積所に出している」が35.8%と最も高く、ついで「よく行くスーパーなどの店頭回収、民間業者が設置した資源物コンテナ回収等を利用している」が26.1%、「地域の資源物集団回収の際に出している」が24.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「地域の指定された集積所に出している」が3割半ばで最も高くなっている。また、男性は「地域の資源物集団回収の際に出している」が女性よりもやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、30歳代から50歳代では「よく行くスーパーなどの店頭回収、民間業者が設置した資源物コンテナ回収等を利用している」が最も高く、3割を超えている。その他の年代では「地域の指定された集積所に出している」が最も高くなっている。

問36 普段、主に紙類を出しているところ

